

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38344
事業名	公立夜間中学関係費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-211-3851
施策名	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	夜間中学は、戦後の混乱期の中で、生活困窮などの理由から昼間に就労または家事手伝い等を余儀なくされた学齢生徒に、義務教育の機会を提供することを目的として設置されたものであり、現在は義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方、本国や我が国で義務教育を修了していない外国籍の方など、様々な背景を持つ生徒の多様な学びを保障する中学校である。平成28年に教育機会確保法が成立したことを受け、令和4年4月に北海道では初の公立夜間中学である星友館中学校を開校した。令和5年度末現在の生徒数は106名であり、学び直しの場としてのニーズは高い状況である。
	事業内容（何を実施し）	様々な事情により、学校に行かないまま中学を卒業した方や小・中学校での就学機会が得られなかった方などに対し、適切な「学び直しの場」を提供するため、札幌市立星友館中学校を運営する。
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	義務教育未修了者や形式的卒業者等の十分な教育を受けられなかった方々が学びを得ることで、自己実現や社会的自立を実現する。
	他都市の状況	令和6年4月現在で、31都道府県47市区53校の夜間中学が設置されている。令和8年度までに全国でさらに15校開校予定。そのほか3自治体において設置に向けた検討を公表しており、文科省の都道府県及び政令指定都市に最低1校の方針に基づき、全国で設置が進んでいる状況。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	24,242 千円	うち特定財源	5,067 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度予算額	51,971 千円	うち特定財源	4,953 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度決算額	49,469 千円	うち特定財源	5,070 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和6年度予算額	41,185 千円	うち特定財源	5,441 千円	正規職員業務量	0.2 人工

指標	アウトプット活動指標1	公立夜間中学の開設				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		開校					
	↓						
	アウトカム成果指標1	安心して学校生活を送ることができる生徒の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			95	89	90		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	約9割と高い水準を維持しているため、今後も夜間中学で学ぶ生徒が安心して学べるよう運営支援をしていく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	
来年度以降の方向性	